

金沢市 地域コミュニティ ICT 活用促進事業



地域 ICT プラットフォーム
結ネット

活用事例集



金沢市では、地域における情報共有と発信、町会等役員の負担軽減及び若い世代の活動への参加を促進するため、電子回覧板等アプリの導入などを支援しています。

金沢市内で普及が進んでいる電子回覧板等アプリ「結ネット」の導入事例をご紹介します。

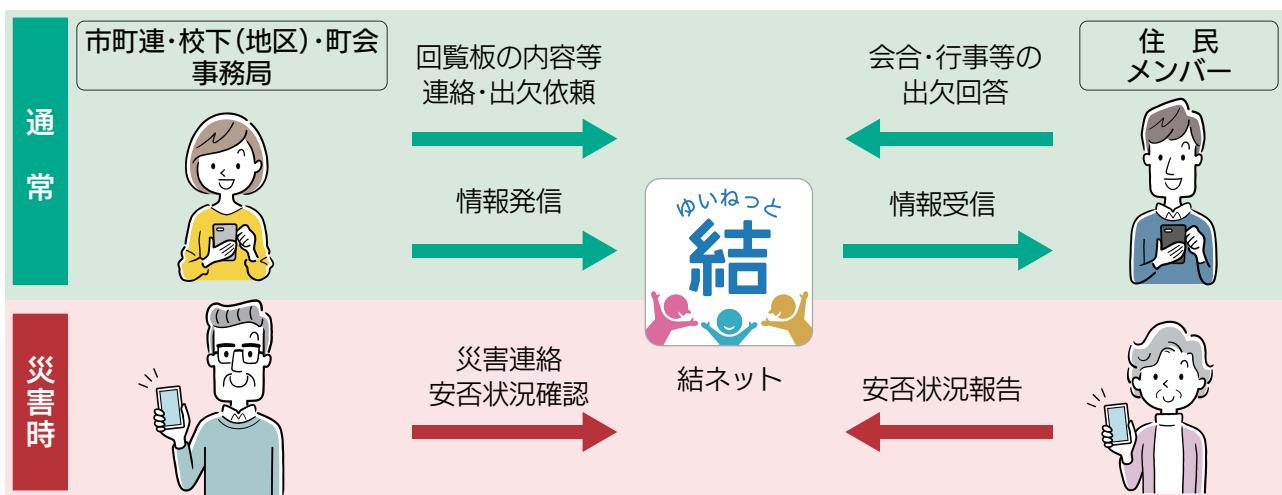
令和5年7月

金沢市市民協働推進課

「結ネット」とは？

地域ICTプラットフォームサービス「結ネット（ゆいねっと）」は、町会等地域団体や各種団体において、通常は地域の電子回覧板や自治体・事務局等からの情報受発信ツールとして利用し、災害時には安否確認システムとして活用できるスマートフォンのアプリです。

- 連絡網機能 … 地域内に情報配信を行う
- グループウェア機能 … 地域行事などの出欠確認や各種調査を行う
- 地域情報配信機能 … 自治体などの情報配信を行う
- 災害時安否確認機能 … 災害時の安否確認を行う
- 自動翻訳・音声再生機能 … 記事内容の翻訳や読み上げを行う



金沢市における「結ネット」の活用に関する協定

令和3年4月27日、金沢市では、地域コミュニティの活性化及び市民の利便性向上等を図るため、地域ICTプラットフォームサービス「結ネット」を活用した取組に関する協定を、金沢市町会連合会及び株式会社シーピーユーとの三者で締結しました。

以降、各団体が連携協力のうえ、「結ネット」の活用に取り組んでいます。

連携協力事項

- ・ 結ネットを活用した町会活動等の活性化に関すること
- ・ 結ネットを活用した情報発信に関すること
- ・ 結ネットを活用したまちづくりに関すること
- ・ 結ネットの利用促進に関すること
- ・ その他、目的の達成のために必要なこと

地域コミュニティ ICT 活用促進事業

電子回覧板アプリ等の普及に関する補助金

地域における情報共有及び発信並びに若い方の町会加入を促進し、校下（地区）町会連合会及び町会の活性化を図るため、電子回覧板等アプリなど ICT を活用した町会等の運営を支援します。

対象団体	校下（地区）町会連合会 ※町会が助成を受けたい場合は、校下（地区）町会連合会がとりまとめの上、ご申請ください。
補助金額	補助対象経費の 3/4 以内 ※限度額は、各校下（地区）の町会加入世帯数に応じて異なります。
補助対象経費	電子回覧板等アプリの利用料、町会ホームページの制作料、スキャナの購入等に要する経費 など ※パソコンなどの備品購入費、修繕費、工事費は、補助対象になりません。

お問い合わせ

金沢市 市民局 市民協働推進課 TEL.076-220-2026

case 01

金沢市町会連合会 内部の情報共有ツールとして活用



金沢市町会連合会
・
金沢市



校下（地区）町会連合会
・会長
・事務局 等

以下のような情報を配信し、役員等間での迅速な情報共有に努めています。

- 役員会、理事会等の開催案内・出欠確認
- 各種お知らせ、資料提出依頼
- 補助制度等の地域コミュニティ関連情報
- 避難所開設等の防災情報
- 市からの班回覧物データ など

case 02

米泉校下町会連合会

町連全体

二刀流の防災訓練で災害に強いまちづくり



▲ 防災訓練の様子
特設ブースを設け結ネットを周知

Good!



住民への情報伝達が格段にアップ

私たちは、市内で最初に「結ネット」を導入しました。地域内の回覧板は、内容の周知や地域とのつながりのためではなく、ただ『次の世帯に回すもの』という形だけのものになってしまい、住民に情報が確実に伝わっているとは言えませんでした。

また、地域内では年々高齢化が進むとともに、若い方の行事参加の減少など地域への関わりの希薄化も重なり、役員の負担が大きく役員のなり手不足が深刻でした。

Nice!



ICT推進委員を新設し若い方を取り込む

平成30年、電子回覧板として「結ネット」を導入。これまで労力や時間を費やしていた非効率な回覧板は、姿を変え、パソコンやスマートフォン等で受発信できるようになったことで、若い方にも情報共有が容易になりました。まだ紙との併用ですが、情報伝達は格段に向かっていると実感しています。さらに、組織内にICT推進委員を新設し、「結ネット」の普及や問題点の抽出・解消に努めており、IT知識に長けている若い方が組織の運営に携わるよいきっかけになっています。



Check!



迅速な救助を見据えた仮想防災訓練

町会連合会では、従来から行っている避難所に集合する訓練と、「結ネット」を利用した『仮想防災訓練』の二刀流で訓練を実施しています。仮想防災訓練は、校下内にいなくても参加でき、回を重ねるごとに参加者が増え、現在参加者約800名と集合型の訓練よりも多くなっています。安否状況を「結ネット」で速やかに集約し、『無事』以外の人の救助を優先するといったシミュレーションを実施。災害に強い地域づくりを進め、より安心・安全な新しい形を追求しています。

case 03 二塚地区町会連合会

町連全体

警察との連携で信頼できる防犯情報等を配信

Good!



アナログとデジタルを融合した防犯

私たちの地域では、夜間パトロールや犬の散歩を兼ねた見守りなど日々「安全安心の地域づくり」に取り組んでいます。令和4年10月、金沢西警察署から防犯情報ネットワーク推進事業のモデル地区として委嘱を受け、金沢西防犯協会・金沢西警察署が配信する地域防犯メール『にしつ子ネット』を「結ネット」に直接自動配信。信頼ある警察との連携は、住民の安心感と防犯意識の向上につながり、「気を付けようね」と住民同士の声かけも見受けられます。



▲「にしつ子ネット」は
「金沢西防犯だより」として配信



Nice!



防災訓練の安否確認でも積極的に活用

もちろん「結ネット」で行事の開催通知などを発信し、デジタル回覧板としても利用しています。ある町会では、紙の回覧は希望者のみに切り替え、配布負担の軽減と印刷費削減を実現しています。

また、防災訓練の安否確認にも積極的に「結ネット」を活用しています。「結ネット」の導入率をあげることで、人でなければできない安否確認の対象者を絞り、迅速な安否確認を目指します。

Check!



自動配信のさらなる活用を検討

今後は、住民の関心が高い交通情報などを「にしつ子ネット」と同様、事務局の手を介さずに「結ネット」に自動配信できないかと考えています。自動配信によって、いち早く情報を住民に届けられ、「結ネット」に情報が集約されれば、利便性も向上し、導入率アップが期待できます。ひいては、安否状況の早期集約につながり、被害を最小限に抑えることができると考えます。



case 04 新豊町地区町会連合会

町連役員

結ネットと紙を併用し無理なくデジタル化を推進



Good!

- スマホで即座に回答・見返しも楽々
- 紙と併用もトータルで負担軽減

私たちは36町会の大きな組織で、「結ネット」を主に役員会などの会合の案内と出欠確認に利用しています。

従来は、事務局が会合の案内を各役員に紙で配布し、役員は出欠票を記入し事務局に持参等する手間がありました。「結ネット」を導入したことでの役員は出欠票の作成と送付の作業を「結ネット」で完結でき、事務局も印刷や発送、出欠の管理の手間を削減することができました。これまでどおり紙での案内を希望される役員には従来の方法を継続し、無理なくデジタル化を進めています。現在は「結ネット」と紙を併用していますが、役員も事務局もトータルでは負担が軽減したと感じています。



case 05 田上地区町会連合会

町連役員

デジタル化の推進が事務作業とコストを削減



Good!

- 会合案内を紙からアプリへ
- 出欠回答やコメントは自動で電子化

私たちは、これまで会合時は事務局から返信ハガキを同封した案内を郵送していましたが、環境への配慮やデジタル化の推進などの観点から「結ネット」を導入しました。

事務局は時間や手間がかかる案内の発送作業から解放されたことはもちろんですが、案内を受け取る役員側もいつでも出欠回答できたり、案内を見返したりできると好評です。「結ネット」は、返信ハガキの役目を果たし、出欠を自動で即座に集計できます。事務作業の効率化とコスト削減につながっています。

case 06

みずき町会

単位町会

丁寧なサポートが高い導入率につながる



Good!

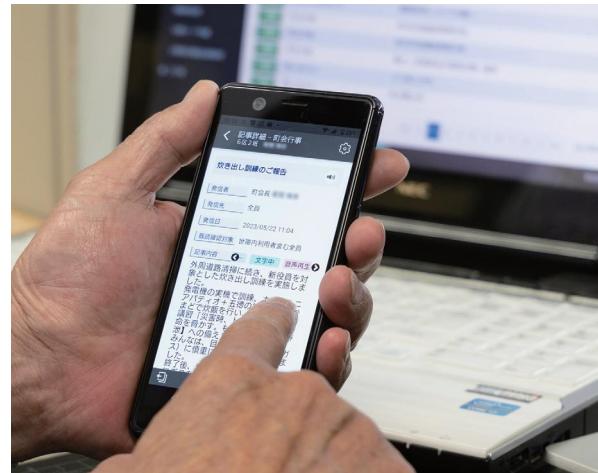


- 身近な情報を積極的に発信
- 導入方法や新機能の説明会を開催

私たちの町会は 870 世帯と市内でも有数の大きな町会ですが、「結ネット」の導入率は約 95% に達しています（令和 5 年 5 月現在）。

「結ネット」では、回覧板や町会放送用スピーカーで行っているような町会の各種案内の配信はもちろん、迷い猫の搜索依頼などの住民のお困りごとや最寄りのクリニックからのお知らせも配信しています。町民に寄り添った情報発信に加え、定期的に町民を対象に導入方法や新機能の説明会を開催し「結ネット」の浸透を図っています。

「結ネット」アプリ内で利用できる記事の音声読み上げ機能は、配信直前の文章の確認用としても利用でき、助かっています。



case 07

二日市町町会

単位町会

全世帯への案内を役員の負担を減らし迅速化



Good!



- 全世帯に速やかに一斉伝達
- デジタルだからできる遠隔サポート

私たちの町会では、これまで訃報連絡や案内を役員が全世帯に紙で配布しており、役員の仕事が多く、現役世代に敬遠されていました。加えて、働いている方には連絡が遅れるといった課題もありました。「結ネット」を導入することで全世帯に一斉に伝達することができ、スマートフォンでどこでも案内を受け取れるので、一気に課題が解消されました。

「結ネット」の利用が難しいひとり暮らしの高齢者の方などは、遠方の家族などが代理で利用。受け取った案内を電話で伝えたり、帰省のきっかけになったりと見守りに一役買っています。

case 08 野町町会連合会

外部連携

普段はさりげない見守り、緊急時は手厚い対応



▲ 高齢者宅に設置した通信機能付きの電球

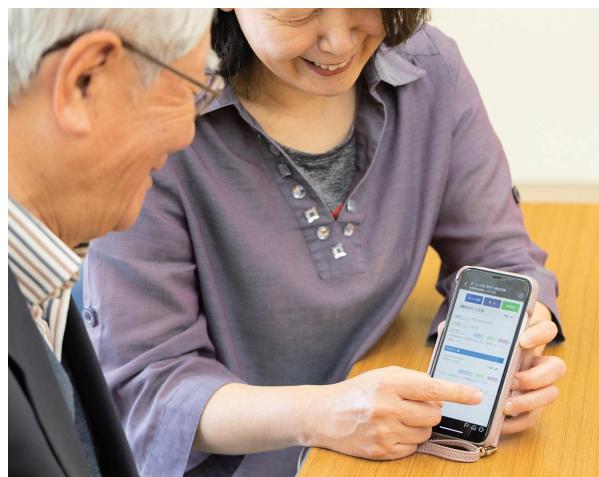
Good!



- ・“結ネット×IoT電球”でやさしい見守り
- ・見守られる側も見守る側も双方が安心

少子高齢化が進行し、高齢化率は約35%と金沢市内でも高い比率となっている地区です。

ひとり暮らし高齢者でも安全に安心して生活できる地域づくりを目指し、「結ネット」と「IoT電球」を連携した見守りを行っています。通信機能付き電球の点消灯異常を「結ネット」を介して遠方の家族や民生委員、町長に通知します。高齢者側は、さりげない見守りでプライバシーが確保され、複数に見守られている安心感があります。見守る側は、家族と地域が状況を共有できる安堵感と心理的な負担の軽減につながっています。



case 09 今町町会

外部連携

乗合タクシーも利用しやすい町民ファーストアプリ



Good!



- ・小さな町会だからこそ役立つ情報提供
- ・外部連携で便利さアップ

180世帯ほどの小さな町会です。「結ネット」では、町会だよりや花園地区からの回覧物に加えて、小さな町会ならではの迷い犬検索や転入者の紹介、訃報など、より身近な情報も含めて、週に1～3件ほど配信しています。紙の回覧物ではできなかった動画の配信なども試しています。

また、「結ネット」内にAIデマンド交通『チョイソコかなざわ』へのリンクを掲載し、電話やネットでの利用予約がしやすくなっています。町民にも「こりゃ便利！」と言ってもらえる今町オリジナルアプリ「結ネット」の構築を目指しています。